

萩ジオパーク推協だより

2019年3月28日 No. 49

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510
TEL : 0838-21-7765 FAX : 0838-25-7767
e-mail : geo@cityhagi.lg.jp
HP : <http://www.cityhagi.lg.jp/site/hagigeo/>

発行 : 萩ジオパーク推進協議会
事務局 : 萩市ジオパーク推進課
Facebook: <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

(報告) 萩ジオパークフェア 2019 ～地球のごちそう、いただきます!!～ ご参加いただき、ありがとうございました (3/8～10)

3月8日(金)午後6時30分から、サンライフ萩の多目的ホールで、萩ジオパークフェア2019の初日を飾る記念講演会を開催しました。神戸大学のマグマ学者、巽好幸(たつみよしゆき)教授をお招きして、『和食はなぜ美味しい～日本列島の贈り物・萩バージョン』と題してお話をいただきました。週末の夜の講演会でしたが、80人もの方に、ご聴講いただきました。最新の研究成果を含まれつつも、身近な和食の美味しさをもたらす大地・地球の活動。恵みがあれば災害もある…日本人の災害観に触れたパートでは改めて考えさせられるものでした。



(熱いジオと食の講演を聴く参加者)

3月9日(土)、萩ジオパークフェア2019～地球のごちそう、いただきます!～地球を食べる食堂「パエリアで萩の大地を楽しもう!」～として、午前中は、パエリアづくり体験を開催しました。講師は、「アノカドリストランテ」オーナーシェフの川口勇樹さん。2017年国際パエリアコンクール国際部門の日本代表として出場し、日本人初の快挙、見事「優勝」された指折りのシェフ!皆で美味しいパエリアを作りました。「パエリア」ということばは料理を表現するだけにとどまらず、みんなで輪になりお話ししながら、少しでも地球と人のつながりを共有したいですね。

正午からは、萩ジオパークのオリジナルパエリアの大盤振る舞い!70cmの巨大パエリアパン3枚を使って、100食分のパエリアを振る舞いました。レシピはもちろん、世界トップクラスのパエリア職人川口勇樹シェフが考案したもので、ジオパークで作る萩のパエリア、、、萩の大地を物語る食材がたっぷり入りました。

- ①水はけが良い三角州の砂丘の上で、暖かい海風に育まれた「夏みかん」…
- ②三角州内の低湿地では町を水害から守った保水地・蓮田の「レンコン」
- ③1億年前の大噴火がもたらす砂の海底は「真ふぐ」の絶好の棲み処
- ④海底火山や溶岩流がつくった瀬やグリは、美味しい「ケンサキイカ」を育ててくれます
- ⑤日当たりの良い阿武火山群の溶岩台地の上で、栄養たっぷりの黒ぼく土が育んだ美味しい「ブロッコリー」は大島産



(パエリアお振る舞いの会場の様子)

⑥溶岩の流れ出た起伏に富んだ海岸は「青のり」の宝庫まさに、「地球の、萩の大地のごちそう、いただきます」、となりました。

3月10(日)の最終日は、阿武町奈古(あぶちょうなご)にある阿武町町民センターの全館を使って、オール萩ジオパークの楽しみ方を多くの皆様に体験&ご報告させていただきました。この日は、朝から雨が降り、お客様の出足も危ぶまれていましたが、総勢500名の方々のご来場をいただきました。

センターの館内では、萩ジオパークのご紹介はもちろん、活動に関わっている多くの団体・関係者による体験コーナー、活動紹介のポスターセッション、地域の美味しい理由が伝わる野菜や加工品などの販売、そしてランチメニューなどものすごい数のブースが出店しました!! しかも、お隣Mine秋吉台ジオパークの応援も駆けつけ、楽しい楽しい1日となりました。

今話題のモドロ岬への特別クルーズ、雨天も何のその!?!で決行、ずぶ濡れになるのも覚悟でエントリーされるお客さんもたくさん! 反響の凄さに驚かされました。正午には、阿武火山群の山の恵み、海底火山が育んだ海の幸がたっぷり詰まった「阿武のジオの恵み鍋」も大量の200食のお振る舞い。

午後3時からシンポジウム。伊豆半島ユネスコ世界ジオパークから鈴木雄介専任研究員、ジオガイド協会の仲田慶枝会長をお招きしての講演会と、地域住民も交えての充実したトークセッションを行いました。フェア最終日を飾るに相応しい楽しく熱い1日でした。



(萩の大地の恵みがふんだんなパエリア)

さて、来年度の萩ジオパークフェアはどこでやりましょうか? 引受会場の立候補、お待ちしております。



- ①: 巽教授の講演の様子
- ②: 巨大パエリアパン
- ③阿武のジオの恵み鍋



- ④今岡教授の石ころ鑑定団
- ⑤モドロシーカヤック擬似体験
- ⑥トークセッション
- ⑦大地を感じるヨガ

萩ジオガイド、活動開始！

ジオガイド養成講座修了者によるジオガイドツアー 3/2(土)・3/16(土)

萩ジオパーク推進協議会のジオガイド養成講座修了者によるジオガイドツアーを3月2日(土)、16日(土)の2日間、萩・椿まつり協賛企画として行いました。

5名のジオガイドが椿群生林周辺で、「大地と人とのつながり」を五感を使って感じてもらうため、ネイチャーゲームを取り入れ、組み立てたツアーです。1月、2月の寒い中、準備や下見、練習を重ねてきました。

3月2日(土)、事前の申込はなく、「誰も来なくても練習でやってみるから」とガイドさん。これまでの取組状況を取材してこられた萩ケーブルさんもドキドキ。思いがけず、東京と大阪から来られた2名の男性が参加、催行することができました。午後からも北九州からツアーをめぐって来られたご家族、まつり会場で知って参加したご夫婦と、属性が異なる方に参加いただきましたが、皆さん笑顔でゴールまで帰ってこられました。

3月16日(土)は萩ケーブルの番組の影響のあり、午前中は13名の参加。本当に小さなお子さんからおじさん、地元の方だけでなく東京から来た方も！参加者みんなが主役として楽しんでいただくことができました。

なお、このツアーは4月、5月の日曜日(4月28日、5月5日を除く)午前10時から「地球と遊ぼう！笠山・自然体験ツアー」として、高校生以上一人1,000円、小中学生500円で実施します。ぜひ、一度体験してみませんか。申込みは希望日の3日前までに萩ジオパーク推進協議会事務局(電話0838-21-7765)へお願いします。



(ネイチャーゲームを体験する参加者)

参加したご夫婦と、属性が異なる方に参加いただきましたが、皆さん笑顔でゴールまで帰ってこられました。

萩ジオパークフォトコンテスト2018 入賞者決定！

萩ジオパークフォトコンテスト2018の入賞作品が決まりました。募集期間中、220点、60名の方の応募がありました。萩市、阿武町、山口市といった萩ジオパークのエリアだけでなく、福岡、広島などの近県、遠くは長野県からの作品もありました。その中から、最優秀賞1点、優秀賞2点、入選8点の計11点の作品が入選となりました。最優秀賞は、原田剛志さん(萩市)の作品「大海原へ向かう」。スローシャッターで波の動きを押さえるなどの撮影技術の素晴らしさが評価されました。審査員からは、2つの物語を感じることができると絶賛。1つめは「地質的な観点」から流れ出た玄武岩質溶岩の荒々しさと沖に見える島々のデイサイト質溶岩の平らな地形の対比、2つめは、写真には写っていないが、ごつごつした溶岩が荒々しい海の中にも続いている、そこは、藻場として魚介類の漁場となり、平らな島では農産物の栽培が盛んである、ということ。写真のもつ力強さに圧倒される作品となっています。次年度も引き続き、フォトコンテストは開催します。皆さんも「萩ジオパーク内の魅力が伝わる写真」を撮影してみませんか。



〔最優秀賞：「大海原へ向かう」 原田剛志様〕



〔優秀賞：「石の巷山からみる阿武火山群と萩城下町」 弘中 誠様〕



〔優秀賞：「私アリさんみたい」 市村孝雄様〕

おおいた豊後大野 GP のガイドさんたちが来萩！(3/3～4)

3月3日(日)、4日(月)の2日間、おおいた豊後大野ジオパーク(大分県)のジオガイドさんたち10名が視察に来られました。萩ジオプランナー、ジオガイド、そして豊ヶ淵交流事業実行委員会のみなさんとご案内し、萩ジオパークを満喫していただきました。1日目は萩城下町と笠山で地球目線のまち歩き、2日目には須佐ホルンフェルスと豊ヶ淵で大地の絶景をご案内しました。和やかな雰囲気でお互いに楽しみながら、交流を深めることができました。今年のJGN全国大会は大分県で開催されます。次は萩からみんなで、おおいた豊後大野ジオパークに行きましょう。(説明に聞き入るみなさん)



わっきー教授のつぶやき ～一言解説～

今回は、お隣のジオパークから、半田君のおじさんがやってきました。両親の代わりに転校手続きをしてくれたようです。石灰岩で儲けた会社の社長さんで、羽振りも恰幅も良いです。須佐の豊岩も、石灰岩も、鉱物が降り積もった「堆積岩」なんですね、知ってましたか？ それから、先月のクイズ、美怜小学校は、“めいりんしょうがっこう”と読みます。無理やり中国語読みをしてしまいました。わっきー教授の教養(ダジャレ感覚)が滲み出てますな！笑



かんぱね!半田くん

第4話 原作:わっきー教授 画:白玉だんご



4月の予定

●地球と遊ぼう!笠山・自然体感ガイドツアー 4月7日(日)、14日(日)、21日(日)、10:00～12:00

00 集合場所:笠山虎ヶ崎「つばきの館」前 内容:五感を使って「笠山」を楽しむツアー 定員:10名(最低催行数5名) 参加費:大人(高校生以上)1,000円、小中学生500円 主催:萩ジオパーク推進協議会 申込・問合せ:萩ジオパーク推進協議会事務局(0838-21-7765)

●萩・美祢共同企画「長州路おもてなし清掃物語」 4月13日(土)

9:00～10:00 場所:美祢市美東保健福祉センター 内容:地域高規格道路小郡萩道路IC付近の清掃活動、主催:きれいなまち・萩推進市民会議 申込・問合せ:○日までに萩市環境衛生課(0838-25-3146) ※萩市役所前庭からマイクロバス、8:15 出発

●萩ジオカフェ 4月17日(水)14:30～16:30 会場:萩・明倫学舎、参加費:300円、主催:萩ジオパーク推進協議会 申込み:

前日までに萩ジオパーク推進協議会事務局(萩市ジオパーク推進課)(0838-21-7765) ※萩ジオパークフェア2019でご講演いただいた伊豆半島ユネスコ世界ジオパークとつながります(15:00～16:30)。日時が定例(第3木曜、18:30～)と変わっており注意!

○geoとも(萩ジオ友の会)定例会「ミニ巡検」4月20日(土)13:30

～16:00 集合場所:萩市役所前庭 内容:鶴江台・中ノ台・狐島の露頭見学 参加費:実費 主催:geoとも、問合せ:geoとも西嶋(0838-26-6123)

○日本ジオパーク認定記念特別展「描かれた萩の大地～絵図にかくされた大地と人の物語～」 開催中～5月12

日(日)9:00～17:00(4月12日(金)は展示替えのため閉鎖)、場所:萩博物館 内容:江戸期以降に描かれた絵画や絵図を通して、萩の大地の上で営まれた過去から現在に至る人々の生活や文化の有様などを読み解く、観覧料:大人510円、高大生:310円、小中学生100円 主催:萩博物館 問合せ(0838-25-6447)

※ ●の行事に参加される場合は、必ず萩ジオパーク推進協議会事務局(0838-21-7765)までご連絡を。